

ミステリ読書案内

2024. 12. 14 発行元

第622号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

堂場瞬一「ベスト表」(再掲)

「警察小説」を基本にして文庫書下ろしのシリーズ物を現在も連発し続けている堂場瞬一の『ベスト表』を再度とりあげてみることにする。図書館へ行くと文庫本も単行本も膨大な量の本が並んでいる様子が見られる。

読むのが追いつかない…

本を出し過ぎ。読むのが追いつかない。あまりにも出版のペースが早すぎるので、文庫シリーズに限って読んできたのだが、最近では読むのを諦めてしまった。ここ二年間ぐらいは一冊も読んでいない。

西村京太郎や赤川次郎ならこの出版ペースでもついていくことができた。読みやすいからだ。堂場瞬一の作品はテーマが重いうえに、本が厚い。もう少し気軽に読めるもの

だったら良かったのに…と思う。そのうち再び読み始めるかもしれないが、今はちょっと中断期間。

以前の『代表作』の号では『鳴沢了シリーズ』から最終巻の『久遠』、そして『アナザーフェイス』シリーズの一卷目、更に『被害者支援課シリーズ』から『身代わりの空』を取り上げた。今回は別のシリーズからということで『蝕罪』と『標的の男』を選んでみた。いずれも最近のベストセラーなので、どの図書館でも置いてあるはず。

《堂場瞬一の文庫本ベスト表》

1. 久遠 刑事・鳴沢了10
2. アナザーフェイス
3. 雪蛭 刑事・鳴沢了1
4. 闇の叫び アナザーフェイス9
5. 蝕罪 失踪課・高城賢吾1
6. 標的の男 追跡捜査係4
7. 血烙 刑事・鳴沢了7
8. 敗者の嘘 アナザーフェイス2
9. 孤狼 刑事・鳴沢了4
10. 刑事の絆 追跡捜査係5
11. 疑装 刑事・鳴沢了9
12. 交錯 追跡捜査係1
13. 烈壊 失踪課・高城賢吾5
14. 被匿 刑事・鳴沢了8
15. 暗い穴 追跡捜査係6
16. 破弾 刑事・鳴沢了2
17. 波紋 失踪課・高城賢吾6
18. 二度泣いた少女 被害者支援課3
19. 帰郷 刑事・鳴沢了5
20. 脅迫者 追跡捜査係8
21. 熱欲 刑事・鳴沢了3
22. 策謀 追跡捜査係2
23. 相剋 失踪課・高城賢吾2
24. 漂白 失踪課・高城賢吾4
25. 消失者 アナザーフェイス4
26. 献心 失踪課・高城賢吾10
27. 患者の連鎖 アナザーフェイス7
28. 響雨 刑事・鳴沢了6
29. 謀略 追跡捜査係3
30. 邂逅 失踪課・高城賢吾3
31. 第四の壁 アナザーフェイス3
32. 身代わりの空 被害者支援課4
33. 逸脱 捜査一課澤村慶司1
34. 遮断 失踪課・高城賢吾7
35. 凍る炎 アナザーフェイス5
36. 不信の鎖 被害者支援課6
37. 時限捜査
38. 影の守護者 被害者支援課5
39. 邪心 被害者支援課2
40. 高速の罠 アナザーフェイス6
41. 闇夜 失踪課・高城賢吾9
42. 壊れる心 被害者支援課1
43. 誘爆 一ノ瀬3
44. ルーキー 一ノ瀬1
45. ラストライン
46. 見えざる貌 一ノ瀬2

「蝕罪 警視庁失踪課・高城賢吾」

2009年中公文庫

『刑事・鳴沢了シリーズ』が『久遠』で完結した後、次なるシリーズとしてこの『警視庁失踪課・高城賢吾』が始まった。本書『蝕罪』はその第一巻。『鳴沢了』の最初の頃は文章が硬かったのだが、シリーズが進むにつれ読みやすくなっていった。本書は脂が乗り切った時期の作品。

堂場瞬一作品は主人公となる刑事の人物像にかなりの重きが置かれている。冒頭で高城賢吾警部は警視庁失踪人捜査課三方面分室に着任することになる。室長は阿比留真弓。この部署は対外的に「仕事やっています」をアピールするために設けられた課なのだが、実態は警視庁の実働部隊からはみ出た人物が集められた「お荷物部署」と言っている。高城しても心にトラウマを抱え、酒浸りの生活を送っている中年男の設定。最初の事件は結婚を間近に控えた赤石透が失踪したというもの。婚約者から話を聞き、捜査の相棒となる明神愛美とともに活動を開始する。

「標的の男 警視庁追跡調査係」

2013年ハルキ

文庫。『交錯』から始まる『警視庁追跡調査係シリーズ』の第四作が本書。本シリーズに登場する警視庁追跡調査係は未解決事件を担当し、沖田大輝と西川大和の二人の刑事の活躍がメインに展開していく。

本書冒頭では沖田が直接自分の担当ではない別件の応援要請を受けて容疑者の張り込みに出掛け、裏口から出てきた犯人を取り逃がして塀から転がり落ちて足首を痛めてしまう。入院して松葉づえ姿になるところから始まる。病室で与えられた仕事が墨田区で起きた不動産業者殺人事件の捜査資料の見直し。ため息をつきながら読み進める…。この後、既に服役中の人物から告白があって糸口が見え始める。西川の方は聞き込みをして歩く中で不思議に感じる部分があって、それを追い始める。二人の動きが噛み合っていく中で解決が見えてくるのが本シリーズ。